

OYABE VOICE

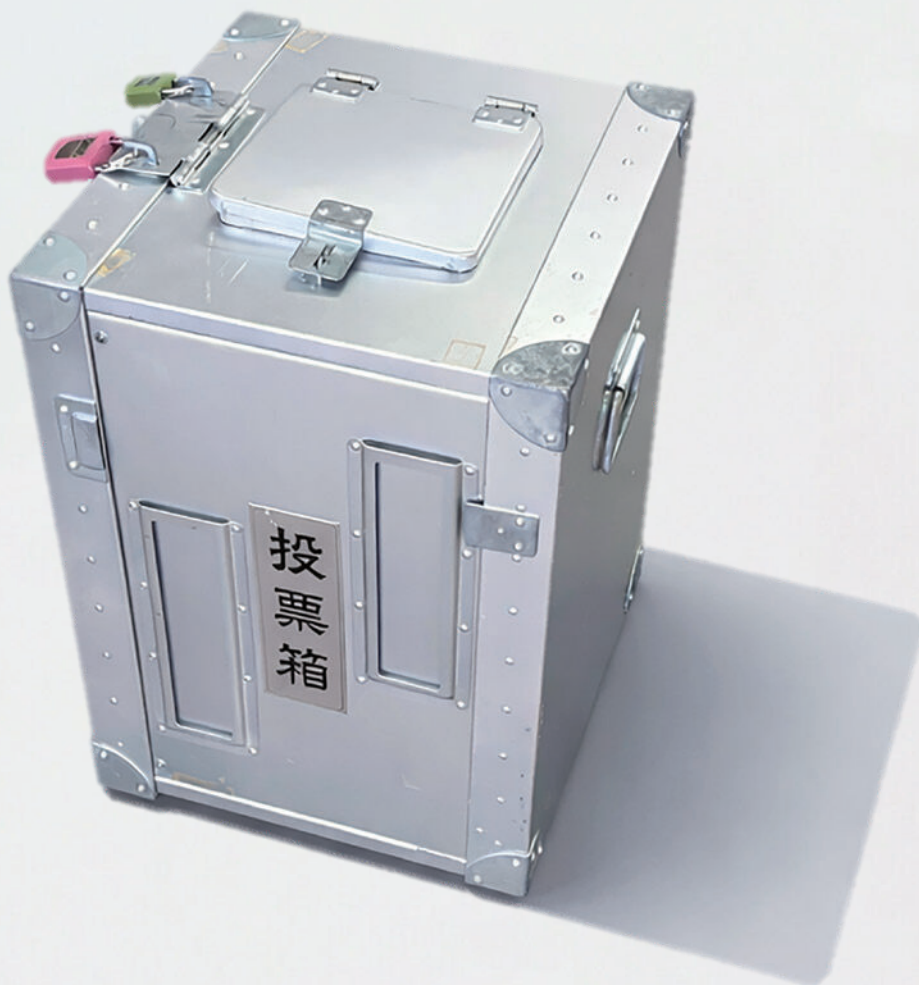
2026年
春号

おやべ市議会だより | No.221 2026.5

議員は市民の代表、あなたの声を聴き市政に届けています。そんな議会の活動をお伝えします。

特集

選挙へ行こう！

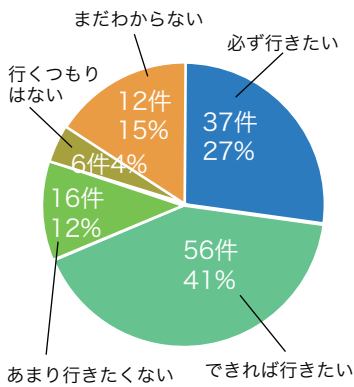
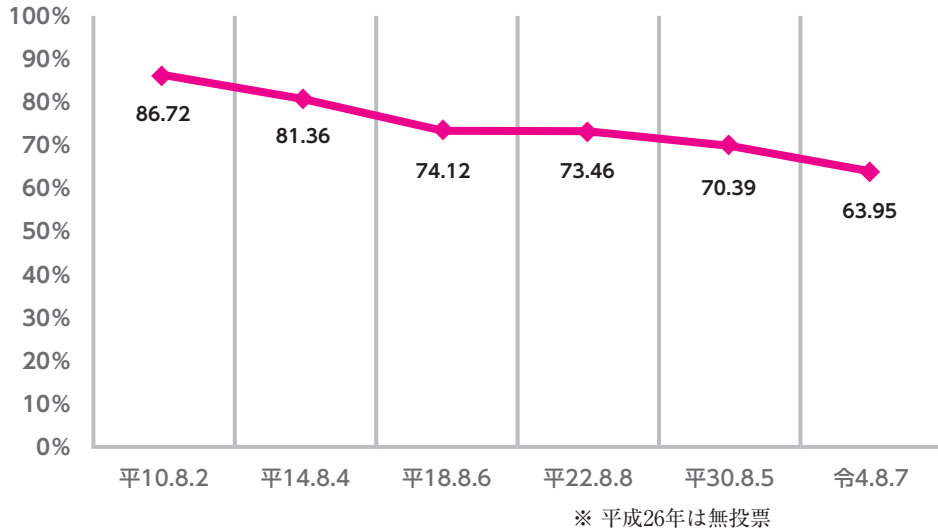


特集 選挙へ行こう！

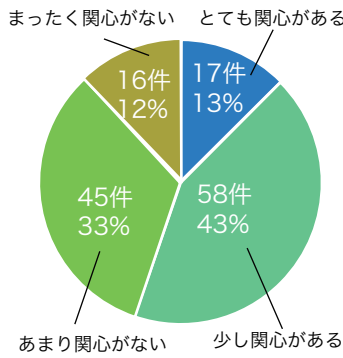
14名の市民の代表を 選ぶのは、あなたの1票

令和8年7月26日告示、8月2日投開票で小矢部市議会議員選挙が執り行われます。今回は、そんな選挙について少し考えてみたいと思います。(今回の市議会議員選挙から、議員定数は14名となります。)

小矢部市議会議員選挙における
近年の投票率推移



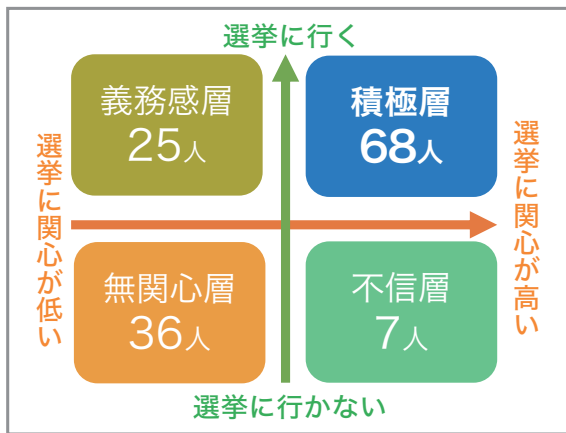
設問② 18歳になったら選挙に行きたいと思いますか。



設問① 選挙にどのくらい関心がありますか。

今回の特集テーマは、「選挙へ行こう!」です。全国的に選挙の投票率が低下している現状があり、特に若者の投票率は低くなっています。

そういう状況の中、平成27年より、18歳から投票できるようになり、将来

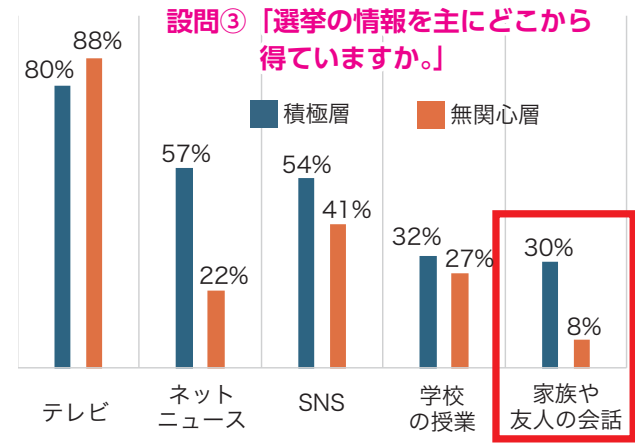


を担う若い世代には投票に行ってみてほしいと考え、石動高校2年生を対象にアンケート調査を行いました。その結果をここにお知らせいたします。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

回答数136件のうち、選挙への関心が高く投票に行くこと答えた積極層が68名、選挙への関心が高いが投票に行かないと答えた不信層が7名、選挙への関心が低いと答えた無関心層が36名で、選挙への関心が低く投票に行くこと答えた義務感層が25名、選挙への関心が低く投票に行かないと答えた無関心層が36名で分類しました。

「どのような政策をすすめてほしいと思いますか。」(複数回答可)の問いに対するアンケートの結果は、多い順位に「公共交通の充実」(75件)、「ま

ちの賑わいづくり」(68件)、「子育て
 右の図は、選挙の情報を中心にどこから得ているかを選挙に行く積極層と行かない無関心層に分けて分析しました。積極層は、無関心層に比べて「家族や友人との会話」と答えた生徒が22ポイントも多く、論文や調査では、親の教育方針や投票行動が子供の投票行動に影響を与えていることも示されています。



OYABE VOICEをお読みの皆様におかれては、家族の中で選挙や政治について、少しでもいいので日常の会話の中で話題にもらえたらと思います。

小矢部市議会 代表質問一般質問のテーマ 取り上げた回数ランキングTOP5 (2022.9~2026.3)

- 1位** 子育て・教育・子育て支援 約105回
- 2位** 防災・災害対応・危機管理 約88回
- 3位** 農業・農村振興 約86回
- 4位** 行政運営・都市計画・インフラ 約62回
- 5位** 福祉・健康・介護 約54回

支援」(50件)、「安全安心なまちづくり」(44件)、「歴史文化・スポーツの振興」(31件)の順でありました。実際に、小矢部市議会ではどんなテーマ・内容を議員が取り上げて議論をしているのか、代表質問・一般質問について、テーマ別に取り上げた回数を左記にまとめてみました。

選挙Q&A
 みなさんの疑問に答えます!

Q1 投票所入場券(はがき)がなくても投票できますか?
 身分証明書等で本人確認を行い、投票可能な方が確認できれば、投票できます。

Q2 期日前投票はできますか?
 投票日当日に仕事や旅行などで投票所に行けない方は、期日前投票所で投票できます。期間は、選挙告示(公示)日の翌日から投票日前日までになります。

Q3 期日前投票をするには何が必要ですか?
 入場券が届いている場合はお持ちください。入場券がない場合は身分証明書をお持ちください。いずれも期日前投票の宣誓書の記入が必要です。

Q4 家族の代わりに投票することはできますか?
 できません。ただし、文字を書くことが難しい方は、投票所の職員が補助する「代理投票制度」を利用できます。

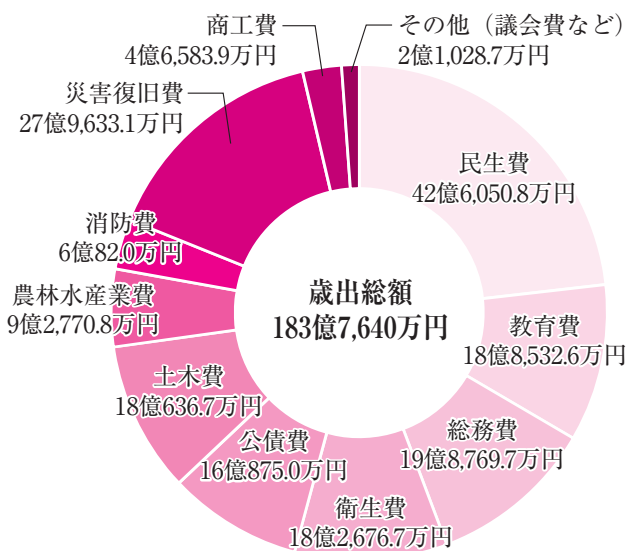
投票の流れ
 (市の選挙の場合)



7 市民は知っておきたい 今定例会の注目の議案 つのポイント



令和8年度歳出予算（一般会計）



令和8年度の当初予算（一般会計）は、183億7,640万円で、昨年度に比べ12.0%増となりました。

Point1

小学校新入学祝い品支給事業

地元企業が製作しているリュックを支給することで郷土愛を育むとともに、入学準備に対する保護者の経済的負担の軽減を図ります。



予算額 **263.7万円**

令和7年度の補正予算、
令和8年度当初予算などを審査する

3月定例会

March

3・6・9・12月に開催される定例会の内容をお届けします。
3月定例会では、上程議案「予算13件、条例11件、議員提出議案1件、その他議案6件、承認4件、陳情1件」を審査しました。



▲動画配信中

3月定例会の流れ

- 1 本会議 3/5(木) 10:00 - 市長による議案の提案理由説明
- 2 全員協議会 3/5(木) 10:50 - 担当部長等による提出された議案の説明
- 3 委員会 3/5(木) 15:30 - 総務産業建設常任委員会
- 4 本会議 3/5(木) 16:30 - 議案の討論・採決など
- 5 本会議 3/11(水) 10:00 - 3/12(木) 10:00 - 上程議案への質疑並びに市政に対する代表質問・一般質問
- 6 委員会 3/13(金) 10:00 - 3/16(月) 10:00 - 3/17(火) 10:00 - 予算特別委員会
- 7 委員会 3/18(水) 14:00 - 民生文教常任委員会 3/19(木) 10:00 - 交通観光特別委員会 3/19(水) 14:00 - 総務産業建設常任委員会
- 8 本会議 3/24(火) 10:00 - 市長による議案の提案理由説明
- 9 全員協議会 3/24(火) 11:00 - 担当部長等による提出された議案の説明
- 10 委員会 3/24(火) 13:30 - 総務産業建設常任委員会
- 11 本会議 3/24(火) 15:00 - 議案の討論・採決など

議決結果は、11ページをご覧ください。

Point5

クマAIカメラの試行導入

日常生活圏内周辺における出没の多い地域にクマAIカメラを試験的に導入し、迅速な注意喚起の対応等を検証します。

予算額

64.9万円



Point2

屋内型こども遊戯施設整備事業

全天候型の屋内型こども遊戯施設を整備するため、基本構想及び基本設計を策定し、整備場所や施設規模等の検討を行います。

予算額 555万円



Point6

避難所配備資機材の購入

国の補正予算による「地域未来交付金（地域防災緊急整備型）」を活用し、避難所の環境改善と備蓄力強化のための資機材購入等を進めます。

【主な購入資機材】

- トイレトラック
- パーテーションテント
- 簡易ベッド
- 段ボール製ベビーベッド
- 備蓄倉庫など



予算額 8,106万円

Point3

乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)

生後6か月から満3歳未満の未就園児が、保護者の就労状況に関係なく、毎月10時間まで保育の場を体験できる「こども誰でも通園制度」が、令和8年4月より全国的に実施されることを受け、事業を開始します。

- 実施場所 蟹谷こども園
- 実施日時 月～金曜日
9時～15時
- 利用料金 300円 / 1時間
昼食代400円

予算額

333.9万円



Point7

小矢部市議会議員報酬の引き上げ

令和8年3月定例会において議決された「議員報酬に係る条例の一部改正」に伴い、今回の市議会議員選挙後から、市議会議員の報酬を月額5万円増額します。

- 【月額】
- 議長 445,000円→495,000円
 - 副議長 390,000円→440,000円
 - 議員 360,000円→410,000円



予算額 660.4万円

Point4

学校給食センター施設整備事業

現在の学校給食センターの建物及び設備が老朽化していることから、安全安心な学校給食を継続的に提供するため、令和9年度中の開業を目指して、新たな学校給食センターを整備します。



予算額 1億1,403.1万円



定例会中の 質問や意見をご紹介します

今定例会中に上程議案や市政全般に対して、議員からあった質問・意見の一部をご紹介します。
なお、全ては掲載できないため、興味のある方はYouTubeの動画や議事録をご参照ください。

総務産業建設常任委員会

●計画の目的

自然環境と景観との共存の下、再生可能エネルギーを有効に活用し、発電事業と共生した農林漁業の健全な発展に資する取組を行うことにより、地域の農山漁村の活性化を図ること。

●計画策定までの経緯

- 令和6年10月 稲葉山風力発電所3基の取壊し
- 令和7年6月 (仮称)新小矢部風力発電設備(5基)整備の公表
- 令和8年1月～2月 農山漁村再生可能エネルギー協議会(計3回)の開催

※詳しくは、右記QRコードより、市ホームページをご覧ください。



Pick Up

農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画(案)について

問 二酸化炭素排出削減について、市として2030年までに46%削減、2050年までにゼロにしようということだが、この設備の設置によって、脱炭素がどれくらい進むか。

答 設備の詳細が決まっていないので、効果の正確な数字は出ていないが、市の計画を設置予定の5基でクリアするような目標で整備すると聞いている。

問 牛に対して何か影響がある恐れはあるか。

答 設置予定場所は、牛を放牧する場所よりもさらに北の採草地になる。以前、設置されていた際にどのような影響があったかはわからないが、牛の等級などに悪い影響はなかったと考えている。

民生文教常任委員会



●改正内容

水島保育所の入所児童数の減少に伴い、水島保育所を廃止するため所要の改正を行うものです。

水島保育所は、令和8年4月1日をもって、廃止となります。

問 水島保育所の廃止に伴い、施設をどのようにに活用するべきか、当局において十分検討していただきたい。

答 今後、施設は普通財産となるので、財政課の所管となる。小矢部市の普通財産として、公共施設等の利活用を検討していくものと考えている。

問 水島保育所について、管理は財政課に移管するが、周りの雑草対策や防犯対策は、しっかりとやっていただきたい。

答 水島保育所廃止後の施設管理について、適正に行われるよう所管課の財政課に伝えておく。

Pick Up

小矢部市保育所条例の一部改正について

代表質問



会派「新政」
山室 秀隆 議員
やまむろ ひでたか

質問項目

- ・人口減対策
- ・石動高校の存続
- ・選挙関連
- ・市長選挙

問 小学校新入学児童へ無償配布するザ・ノース・フェイス製の通学用リュックを市長自ら手渡せないか問う。

答 毎年1月に実施する新入学児童半日入学等で、直接お渡しすることを検討する。

問 南砺市、魚津市、氷見市の各市長は地元高校卒業式に出席され祝辞を述べられているが、市長には招待状が来ていないのか問う。

答 市内3校から招待状を頂いているが、同日なので全ての出席は困難であり、祝電をお送りしている。来年は降は市内3校を順番で卒業式に出席できないかを検討している。

問 市内高校卒業式に出席した時に、新規事業の定住促進奨学金返

還助成制度を祝辞に盛り込み、地元就職をお願いできないか問う。

答 出席できるのであれば、その際に奨学金返還助成制度の周知に努めたい。

問 石動高校から県道小矢部伏木港線間の通学路は、道幅も狭く車のすれ違いも困難な状況であるが、道路整備計画はないのか問う。

答 地域住民や、石動高校生が安全で安心して道路整備に向けて、令和8年度に路線測量を行い、道路計画に着手する。

問 先日の衆議院選挙投票日が大雪との予想もあり本市では、期日前投票が投票総数の60%近くとなっており、当日投票時間を1時間繰り上げて職員等の負

担軽減を図れないか。また、ポスター掲示箇所の見直し、投票所の再編検討を問う。

答 全国的に投票所閉鎖の繰り上げ事例が多くある。投票機会を奪うことにもつながるが、今後全戸配布のアンケートを実施、投票時間短縮、期日前投票所の増設、投票所の統合について有権者に意見を伺い検討する。

問 市長選への出処進退を問う。

答 5期20年間、小矢部市の限らない発展と市民生活の質の向上に誠心誠意取り組んでまいりました。

多選に対する批判がある事は承知しているが、新庁舎整備や新学校給食センター整備という大型事業を最後まで責任をもって成し遂げたく、これまで以上に謙虚に全身全霊を捧げ全力で市政を担わせて頂きたい。



会派「未来共創」
中田 正樹 議員
なかた まさき

質問項目

- ・財政状況と成長戦略
- ・道の駅大規模改修事業
- ・屋内型こども遊戯施設

問 将来負担率の見直し、返済対応を問う。

答 令和10年度に180%台になる。総合計画に基づく行政運営の徹底、投資的事業の選択と集中、借入金を抑制し償還を進める。

問 経常収支比率が極めて高い。財政硬直化の現状認識を問う。

答 直近の令和6年度は88%である。理想的な水準である80%を意識して取り組む。

問 財政力指数は、過去には0.6を超えていた。今後の目標値を問う。

答 過去の最高値である、平成20・21年度の0.62を上回ることが目標設定の一つである。

問 金利上昇に伴う市債償還、今後進める大型事業の起債金利の負担増の影響を問う。

要項等の作成、契約締結までのサポートなど、専門的な知見が必要であり、業務委託する。

問 投資規模の根拠、行政側の収益、投資額の回収計画を問う。

答 固定金利方式か、10年ごとの利率見直し方式であり、急激な負担増にはならない。計画している大型事業は、総量調整が必要である。市債残高、金利負担にも配慮し、健全財政の維持に努める。

問 音楽フェスの経済効果について、昨年の実績を踏まえ、数値を示しての説明を求める。

答 来場者は若者を中心に約2,000人、市民は約200人である。新たな関係人口の創出、シビックプライドの醸成、次世代を担う若者育成が主な成果である。

問 道の駅の業者選定アドバイザリー業務委託費、その中身を問う。

答 今後、具体的な整備、運営手法を決定する。要求水準書、募集

金」の意識が最重要！

議員のこと

YouTubeで代表質問の動画を配信中!! ▶

スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



中田議員



山室議員

▶ あくまで質疑の一部になります。YouTubeの動画配信や議事録にて、全ての質疑を確認することができます。



ふじもと まさあき 議員
藤本 雅明

質問項目

- ・本市職員のラスパイレース指数について
- ・保護者ハラスメントの実態と対応について

問 次期観光振興プランについて

答 観光ニーズの変化を踏まえ、体験型・付加価値型観光に対応した新たなKPIを設定し、実効性のある持続的な観光振興プランを策定する。

問 本市職員のラスパイレース指数が県内最低となっている現状について

答 本市職員のラスパイレース指数が県内最低の要因は、若年職員や任期付職員の給与水準等。市は令和8年度に初任給引上げや給与体系の見直しと改善を図る。応募者数を確保する為、今後PR動画作成などにより人材確保に努める。

答 本市では重大なハラスメント事案の報告はないが、保護者から学校の関与を求める相談は一定数ある。対応として、スクールロイヤルの活用や複数教員による組織的対応、記録・共有の徹底を図っている。令和8年度からは弁護士派遣も予定し、教職員の負担軽減を進める。

問 避難所受付のDX化について

答 避難所受付のDX化は、マイナンバーカードやスマートフォンを活用した方式を検討している。令和8年度に実証実験を行い、その結果を踏まえ、令和9年度以降の本格導入を目指したいと考えている。

問 農業公社の取組について、見解を問う。

答 農業公社の主な役割は、農地の管理、有効活用、後継者不足への対応、新規就農者の支援、地域農業の活性化、農作業受託事業などである。市内農家が安心して地域農業を持続できるように、各協議会等と現状や今後についてしっかりと情報交換をして協議してまわりたい。

問 ヤングケアラー世帯に対する具体的な支援について問う。

答 市が実施する子育て世帯訪問支援事業について、令和8年度から制度を拡充し、ヤングケアラーのいる家庭を対象に利用者負担の軽減を図る。

問 農業公社の取組に担当について問う。

答 18歳未満は、こども家庭課に設置することも家庭センターが担当している。18歳を超えると、体制的には富山県のこども・若者総合相談センターや総合教育センターなどが対応する。18歳を超えても困り事があつたら気軽に、市のこども家庭センターへ相談していただきたい。

問 学校におけるチーム担任制について問う。

答 現状では教員の確保が非常に困難であり、確保の見通しが立つても、教員間の情報交換の時間がより必要になるなどのデメリットもある。学校や教員の意見をしっかりと聞いて検討を進める必要がある。



いしだ よしひろ 議員
石田 義弘

質問項目

- ・農業について
- ・福祉について
- ・教育について

問 おやべファンクラブのさらなる拡大のため、今後の取組について問う。

答 県外でのファンミーティングの開催や特産品プレゼントキャンペーンを引き続き実施し、さらなる会員の獲得を図るとともに、令和8年度からは専任の情報発信員を配置し、ファンクラブLINEやインスタグラムなど、本事業の中心的取組である情報発信の充実を図る。

問 市民や地域団体、事業者が主体となって関係人口を創出する取組を支援するために、市民提案型の関係人口創出事業制度というような制度を創設してはどうか。

答 本市では、関係人口創出に対し体系的に支援する仕組みというものは無いが、市民協働の事業である「おやべ型1%まちづくり事業」では、優先採択枠のテーマ事業において、令和8年度のテーマを関係人口と位置づけしており、この制度を活用することにより、市民が主体となった関係人口創出の取組に対して一定の助成が可能である。



やまだ よしひろ 議員
山田 吉晴

質問項目

- ・関係人口の増加に向けた取組について
- ・市民主体の取組とオンライン戦略について

議員のひとこと
定住人口や交流人口の増加のためには、まず関係人口を増やすことが重要と考える。市民一人ひとりが地域づくりに主体的に関わり、その取組を通して、小矢部の魅力を市内外に情報発信していきましよう。

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!!
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



山田 議員



石田 議員



藤本 議員

一般質問



いしましろうじ 石間 庄二 議員

質問項目

- ・地域未来交付金について
- ・空き家対策について
- ・令和7年人口動態について

問 市は国の地域未来交付金を使って、道の駅の改修に留まらず

「メルヘン・米・米粉・米たまご」のまちとして米の産業クラスターを築けるのではないかと提案の米クラスター

答 提案の米クラスターの取組は一つのアイデアとして、今後、道の駅施設整備と併せて検討していく課題の一つと考えている。

問 二年前の「空家特措法」の改正による新たな「空家等活用促進区域」を指定すれば、空き家の解体助成金額が増える。この区域指定を検討すべきではないか。

答 現在、市が行っている社会資本整備総合交付金による空き家の除去補助でも同じ自己

負担割合であるが、提案の区域指定で建築基準法の要件緩和による新たな空き家対策が可能であることから今後、国や他市の運用状況を検討してまいりたい。

問 令和七年の人口動態からして想定を超える少子化、人口減少の中、働く場所を確保しなければ人は戻らない。農業も含めた市内企業に小矢部市が望むことは何か。

答 人口減少が進行する中、今後も地域社会を維持していくため、若者が定住できるだけの仕事、就業機会の確保が重要であり、市内の事業所には今後可能な限り就業機会の確保に努めていただき定住人口の拡大に繋がることを期待している。

負担割合であるが、提案の区域指定で建築基準法の要件緩和による新たな空き家対策が可能であることから今後、国や他市の運用状況を検討してまいりたい。



しらいあたる 白井 中 議員

質問項目

- ・少子化対策
- ・おやべ縁結びの会の活動
- ・道路交通法の改正

問 少子化対策として、結婚と出産に特化した新年度の取組について

答 結婚を希望する方が婚姻に至るまで継続的に粘り強く支援することが重要である。出

会いの場の提供として、大型イベント、中型異業種交流イベント、少人数イベント、参加者の結婚への意識の醸成につながるスキルアップセミナーを継続して実施する。妊婦等包括相談支援事業を実施し、妊婦及び家族の心や身体

問 おやべ縁結びの会の活動について問う。

答 イベント終了後、おやべ縁結びの会にサポート登録され、後日、縁結びさんの支援の下、

1対1の引き合わせにつながった方もおいた。異業種交流会では、参加者が積極的に連絡先を交換し、その後に

実際に交際した方や、縁結びさんのサポートにより交際に発展した方もおいた。縁結びさん

の助言は、一番の信頼性があると考える。

問 外国人への基本的な交通ルールの指導について問う。

答 小矢部警察署は、定期的に外国人技能実習生を対象とした交通安全講習を実施している。市は、小矢部警察署と連携し、交通ルール遵守の教育を行っていただくよう、外国人技能実習生の受入事業所に商工団体とともに働きかけていく。



はやししん 林 登 議員

質問項目

- ・選挙事務の効率化等
- ・介護サービスの提供等
- ・職員のメンタルヘルス
- ・コンプライアンス強化

問 本年1月に上下水道料金を二重に徴収する事務処理ミスが発

生した。さらに、今回の補正予算には地域おこし協力隊員が起こした事故による賠償金、103万円も計上がされている。この他に公表していない事務処理ミス等はないか。

答 現在調査中のものがある。

問 ホームページ上で事務処理ミス等の公表を実施することで、市民に対する説明責任を果たし、信頼される行政を目指すべきではないか。

答 このような取組を行っているのは、自治体規模や職員数が比較的大きな団体であると認識をしている。本市においても、同様に全

ての事務処理ミスを公表するとすると、限られた職員数で業務を行っている現状では、職員個人の特定がしやすくなり、職員の萎縮につながるリスクも考えられる。本市としては、市民生活や市政運営への影響が大きな事案については、今回のように記者会見を行うなど速やかに公表することで、行政としての説明責任を果たしたい。

問 大きい自治体は手が余っているから公表しているわけではない。

答 全て公表することがよいのかどうかというのを考えると、職員

のこれからの職務に影響が出てくるのではないかと思っ

て、慎重に検討させていただきます。

YouTubeで一般質問の動画を配信中!! ▶
スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



林 議員

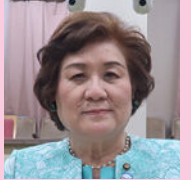


白井 議員



石間 議員

▶ あくまで質疑の一部になります。YouTubeの動画配信や議事録にて、全ての質疑を確認することができます。



しま ゆきえ 議員 嶋田 幸恵

質問項目

- ・子育て施策について
- ・外国人との共生社会実現に向けた取組について
- ・成り手不足について

問 本市の子育て施策を問う。

答 今年度予算では、母子手帳アプリ・メルbabyの機能拡充予算を計上し、妊婦のための支援給付の申請手続きや、伴走型相談支援のためのアンケートの実施等にデジタル技術を活用し、妊産婦の負担軽減を図っていく。

問 外国人との共生社会実現に向けた取組について問う。

答 本市に住んでいる外国人は894人、子供がおいでの方は32人である。外国人へのごみ出しルールの周知は、英語、ベトナム語、ポルトガル語、中国語の四ヶ国語に対応している。外国人への交通ルールの周知は生活ルール含め一通りの講習を行っ

ている。警察署においても防犯、交通安全講習を実施している。外国人の妊婦には、外国語版の母子健康手帳を発行し、書類や諸制度の説明は翻訳アプリを活用している。

問 成り手不足を問う。

答 各種審議会などの初回の会議では統一的な様式でアンケート調査を行い、開催日時を見直すなどの対応を検討したい。

問 新庁舎の被害想定対応を問う。

答 庁舎の構造や利用形態を踏まえ職員の訓練を行う。階段、手すり、建築物移動等円滑化誘導基準及び富山県民福祉条例を遵守し設計を行っている。



うえだ ゆきこ 議員 上田 由美子

質問項目

- ・少人数学級の必要性について
- ・水道老朽配水管と鉛給水管の布設替えについて

問 26年度に小学校で30人超え学級はあるか。

答 本市では7学級を見込んでおり、1から3学年までの31人以上の学級には、多人数学級を支援するスタディ・メイトを配置する。

問 学級に複数の教員がいれば、児童生徒は安心して学習でき、教員はゆとりを持って教育できるのではないか。

答 全学級への複数教員配置は課題が多いが、引き続きスタディ・メイトの加配とティーム・ティーチングの手法を工夫して取り入れ教育的支援に努める。

問 水道事業で40年経過した老朽配水管が今後3年間に計画どおり実施されても新たな老朽管が生じ、老朽管の延長も全体に対する割

合も増える。国や県の財政支援を小矢部市では、利用しているか。

答 23年度から24年度にかけて水道施設アセットマネジメント推進事業を活用し管路耐震化及び更新を実施した。

問 水道を各家庭に引き込むための鉛給水管の布設替えを問う。

答 鉛給水管の栓数は、6千400栓あったが、25年末見込みで3千185栓の布設替えが完了予定である。年間80か所を替えるとして約40年かかる見通しであるが、国の推進方針を受け計画的に取組を検討する。

議員のひとこと その他に「新庁舎及びその他公共施設での生理用品配置」「保育士の配置基準」について質問した。



かとう ゆきお 議員 加藤 幸雄

質問項目

- ・人口ビジョンについて
- ・将来世代への負担について
- ・成長戦略について

問 地域における人口減少の周知と理解について問う。

答 地域住民が地域の現状を理解することは大変重要であり、今後、情報共有が深まるよう地域への個別周知を検討していく。

問 限界集落の把握と認識について問う。

答 個々の把握はしていないが、地域コミュニティの維持が困難になってきている。

問 維持困難な集落をどうするかを問う。

答 二つの自治会が一つになった事例もある。困りごとについては相談にのっていく。

実現する機能もある。

問 今後の財政運営について問う。

答 必要な施策に取り組んでいく。減債基金等償還財源の確保を図り、持続可能な財政運営に努めていく。

問 成長戦略について、道の駅の取組を問う。

答 官民連携で稼げる道の駅となるよう、今後、具体的な整備・運営手法を検討する。

問 小矢部ブランドの成長戦略について問う。

答 PR事業に変更し、PR動画、紹介イベント、SNSなどで販路拡大を目指している。市内事業者には商品開発について働きかけていく。

議員のひとこと 将来世代に夢のある小矢部市を目指そう。

◀ YouTubeで一般質問の動画を配信中!! スマホで左記のQRコードをお読み取りください。



加藤 議員



上田 議員



嶋田 議員



1月臨時会・3月定例会の議決結果



審議された議案等、議員別賛否状況

▼ 全会一致（全員賛成）で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	令和7年度小矢部市一般会計補正予算(第6号)	可決
議案第26号	工事請負契約の締結について	可決
議案第27号	工事請負契約の締結について	可決
議案第28号	工事請負契約の締結について	可決
議案第29号	財産の取得について	可決
議案第3号	令和8年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計予算	可決
議案第6号	令和8年度小矢部市東部産業団地事業特別会計予算	可決
議案第7号	令和8年度小矢部市水道事業会計予算	可決
議案第8号	令和8年度小矢部市下水道事業会計予算	可決
議案第9号	令和7年度小矢部市一般会計補正予算(第11号)	可決
議案第10号	令和7年度小矢部市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決
議案第11号	令和7年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第12号	令和7年度小矢部市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第13号	令和7年度小矢部市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第14号	小矢部市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決
議案第15号	小矢部市特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決

議案番号	議案名	議決結果
議案第16号	小矢部市消防団の定員、任免、報酬、勤務等に関する条例の一部改正について	可決
議案第17号	小矢部市積立基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可決
議案第18号	小矢部市火入れに関する条例の一部改正について	可決
議案第19号	小矢部市水道事業給水条例及び小矢部市下水道条例の一部改正について	可決
議案第21号	小矢部市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	可決
議案第22号	小矢部市保育所条例の一部改正について	可決
議案第23号	小矢部市各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について	可決
議案第24号	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
議案第25号	市道の路線変更について	可決
承認第1号	専決処分事項の承認について 専決第1号 令和7年度小矢部市一般会計補正予算(第7号)	可決
承認第2号	専決処分事項の承認について 専決第2号 令和7年度小矢部市一般会計補正予算(第8号)	可決
承認第3号	専決処分事項の承認について 専決第3号 令和7年度小矢部市一般会計補正予算(第9号)	可決
承認第4号	専決処分事項の承認について 専決第4号 令和7年度小矢部市一般会計補正予算(第10号)	可決
議員提出議案第1号	冤罪被害者救済のための刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書	可決

※議案第1号は1月臨時会、議案第26号から29号は3月5日に議決しました。

▼ 賛否が分かれた議員

○：賛成 ×：反対 ー：議長は表決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	山田吉晴	石間庄二	上田由美子	林登	竹松豊一	谷口巧	山室秀隆	加藤幸雄	義浦英昭	吉田康弘	藤本雅明	白井中	中田正樹	石田義弘	嶋田幸恵
議案第2号	令和8年度小矢部市一般会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
議案第4号	令和8年度小矢部市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
議案第5号	令和8年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
議案第20号	小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
議案第30号	令和8年度小矢部市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
議案第31号	小矢部市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	○	○
陳情第1号	再審法改正を、国会主導で、早急に成立させることを求める意見書採択の陳情	否決	×	×	○	×	×	×	×	×	×	ー	×	×	×	×	×

予算特別委員会報告

3月定例会で開催された委員会審査において、令和8年度当初予算に対しての主な意見です。

● 予算の執行にあたり、将来の財政推計を的確に見極め、施策・事業を十分に精査し、財政の健全化に努めること。

● インバウンド誘客促進事業をはじめとする新規事業について、費用対効果を十分に検証し、適正な事業執行に努めること。

● 豪雨災害及び能登半島地震からの災害復旧並びに本庁舎整備について、計画的かつ着実に進めること。

● 災害対策について、地区自主防災組織と防災士との連携の強化を図るとともに、防災士の育成に努めること。

● 業務改善について、自治体DXをより一層推進し、業務量の縮減に努めるとともに、事業の見直しに取り組むこと。

● 持続可能な農業の実現に向け農業後継者の育成を図るとともに、スマート農業及び有機農業の推進に努めること。

● 少子化対策について、婚活支援の強化を図るとともに、妊娠・出産から成人に至るまでの切れ目ない支援に努めること。

● 屋内型子ども遊戯施設について、市民ニーズを的確に把握した上で、既存施設の活用を前提とし、過度な施設整備とならないよう進めること。

● 道の駅の大規模改造について、諸課題の解決に資する投資的效果を發揮し、官民連携による成長戦略として、にぎわいと稼げる力の両立の実現を図ること。

● おやべファンクラブの運用にあたり、ふるさと納税の寄付者等との関係を活かし、実効性のある関係人口の創出に努めること。

● 小中学校再編推進計画に基づく中学校再編候補地の適地調査について、通学条件、人口動態及び地域の中心性等を踏まえ、適切かつ着実に進めること。

● 石動高校の存続に向けて、通学路をはじめとする周辺環境の整備を含め、生徒に選ばれる魅力ある学校となるよう、総合的に取り組むこと。

TOPICS 1

TOPICS 2

市議会議員と意見交換しませんか？ 参加団体募集中！

小矢部市議会では、市議会議員との各種意見交換会を実施しています。ぜひお気軽にお申し込みください!!

詳しくは市議会ホームページをご覧ください。→



6月 定例会のお知らせ

次の定例会は6月12日から25日までの14日間の予定です。ぜひ、本会議や委員会を傍聴しにお越しください。

※ピンク色の文字はYouTubeにて生放送を行う予定です。ケーブルテレビでは、定例会終了後、一部を録画放送予定です。



定例会
YouTube

- 6月 12日(金) 10:00 ~ **本会議** 提案理由説明
- 18日(木) 10:00 ~ **本会議** 代表・一般質問
- 19日(金) 10:00 ~ **本会議** 一般質問
- 22日(月) 14:00 ~ **委員会** 民生文教常任委員会
- 23日(火) 10:00 ~ **委員会** 交通観光特別委員会
- 14:00 ~ **委員会** 総務産業建設常任委員会
- 25日(木) 15:00 ~ **本会議** 質疑、討論、採決

編集後記

先日、ある会議に出席した折、「OYABE VOICEを読んだことがない」と言われた方がおられて寂しい思いをしたことがあります。まだまだ、認知度不足であり、テレビで言えば視聴率で1桁台かと思われました。9月に改選があり、9月からの新生小矢部市議会では、これまで以上に、一人でも多くの方に手にしていただく紙面づくりを心がけていきたいと思っています。

(広報広聴委員会委員 山室記)

次回の「OYABE VOICE」は、令和8年8月の予定です。



市議会ホームページ